



## 中学3年生の1学期は、日本の伝統のエコバック あずま袋を製作しました。

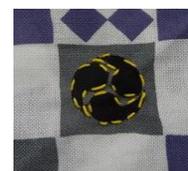
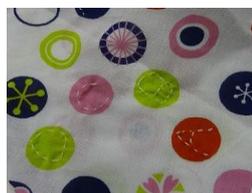
あずま袋はとても簡単に作れる日本伝統のエコバックです。最初に、ミシンの使い方や手縫いの基礎を復習し、自分で選んだ柄の小幅布を使ってあずま袋を製作します。完成したら、刺し子糸を使い自由に刺し子し、自分だけのオリジナル作品に仕上げました。



## 実習の様子



被服実習は、GW明けから始まりました。裁縫は久しぶりの生徒も多く、基礎練習の三つ折り縫いに苦戦していました。三つ折り縫いは、三つ折りにした内側の端を縫い留めます。縫い目が曲がったり、布端から落ちないように縫い進めます。最初は上手く縫えない生徒たちも、何度か練習するとミシンにも慣れて、黙々と取り組んでいました。実習の初めに比べると、裁縫がとても上手になっていました。



### 刺し子の模様

色鮮やかな刺し子の糸を使用し、自由にデザインを考えて刺し子を刺します。柄に合わせて刺し子をしたり、アルファベットやお花など、いろいろな模様がありました。

### エコバックを使って環境に優しく

レジ袋の削減をはじめとする容器包装廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進しています。多くのスーパーでは、レジ袋の有料化が進んでいます。実習で作ったあずま袋を利用して、レジ袋削減に取り組みましょう。



### 編集後記

家庭科では、1学期に被服実習、2学期に調理実習を行い、生活に役立つ基礎的な技術を身につけます。被服実習で学習した、ミシンの使い方と手縫いの並縫いや玉止め玉結びなどは、裁縫の基礎となりますので、忘れないでください。

★2学期には、にんべんの「かつお節教室」があります。かつお節のだしについて講義していただきます。

